

Optimized Edge Routing を使用した 2 つのインターネット接続に対する IOS NAT ロード バランシング

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

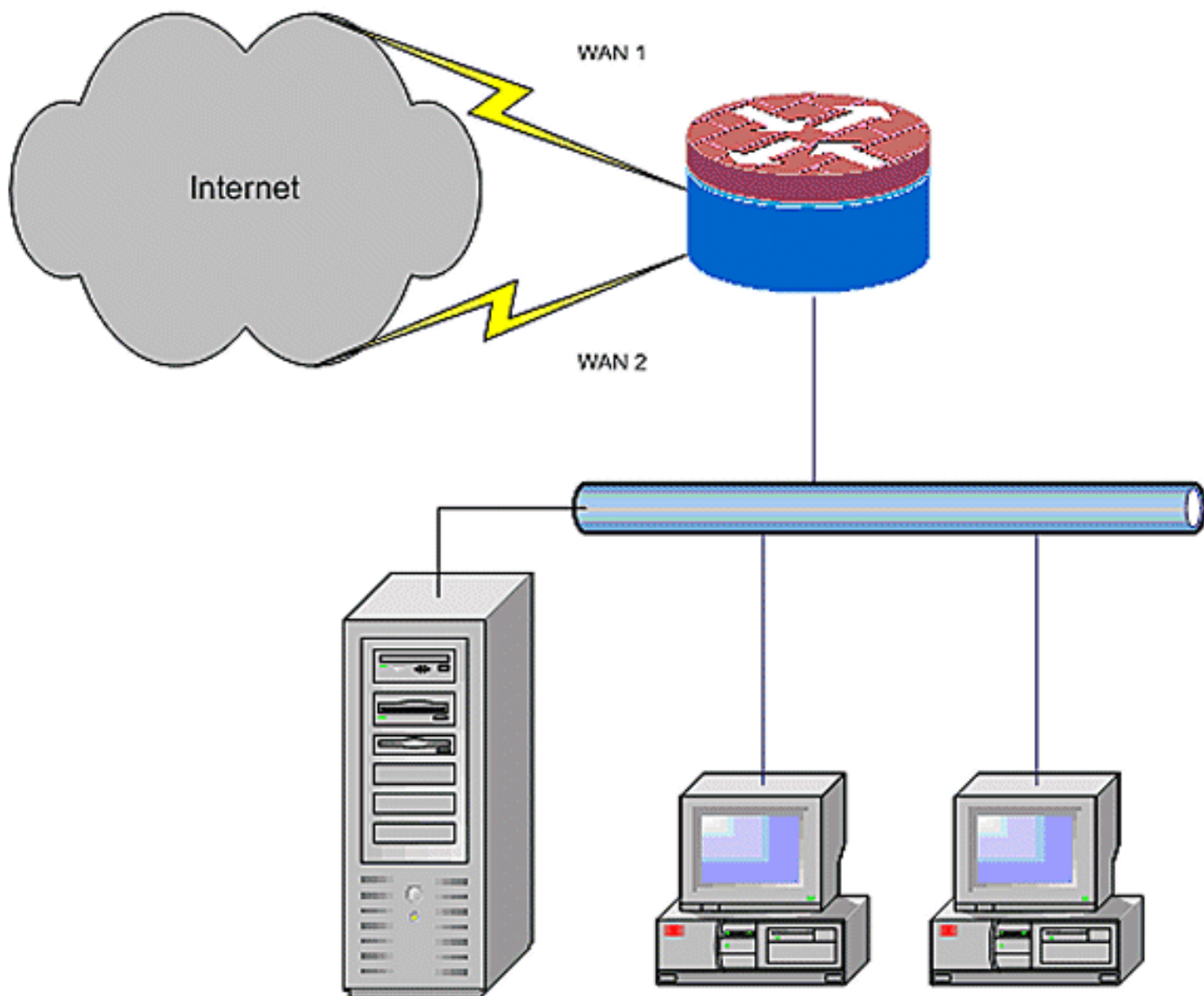
[確認](#)

[トラブルシュート](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、2 つの ISP 接続を介したネットワーク アドレス変換を使用してネットワークをインターネットに接続する Cisco IOS^(R) ルータの設定について説明しています。Cisco IOS ソフトウェアのネットワーク アドレス変換 (NAT) では、特定の宛先までの等価コスト ルートが複数ある場合、複数のネットワーク接続を介して後続の TCP 接続および UDP セッションを分散できます。いずれかの接続が使用不能になった場合は、Optimized Edge Routing (OER) のコンポーネントであるオブジェクト追跡を使用して、その接続が再度使用可能になるまでルートを無効にすることにより、インターネット接続の不安定性や信頼性の低さに関係なくネットワークの稼働率を確保できます。



前提条件

要件

このドキュメントでは、LANおよびWAN接続が機能していることを前提としています。初期接続を確立するための設定やトラブルシューティングの背景は提供されません。

1. このドキュメントでは、ルート間で差別化を行う方法については説明していないので、一方の接続を他方の接続よりも優先的に使用方法は記載されていません。
2. このドキュメントでは、ISPのDNSサーバの到達可能性に基づいていずれかのインターネットルートが有効または無効にするOERの設定について説明しています。1つISP接続のみを介して到達可能で、そのISP接続が使用不能になると稼働できない特定のホストを識別する必要があります。

使用するコンポーネント

この設定は、Cisco 1811 ルータと 12.4(15)T Advanced IP Services ソフトウェアを使用して開発されました。他のソフトウェアバージョンを使用する場合は、一部の機能を使用できない場合や、使用するコマンドがこのドキュメントに示されているコマンドと異なる場合があります。同様の設定はすべての Cisco IOS ルータプラットフォームで使用できますが、多くの場合、インターフェイス設定はプラットフォームごとに異なります。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

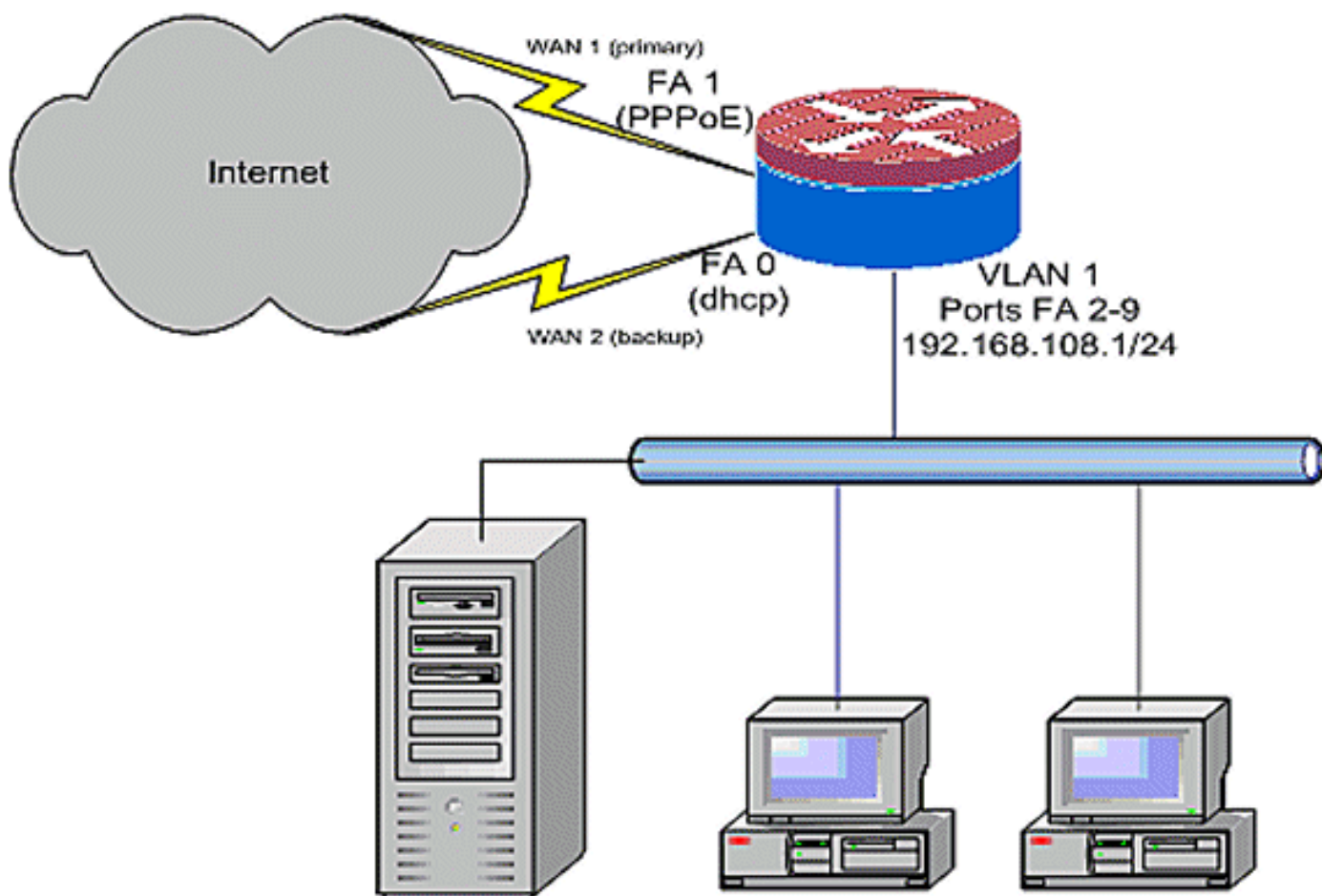
[設定](#)

特定のトラフィックが常に 1 つの ISP 接続を使用するようにするには、ポリシーベースルーティングを追加する必要がある場合があります。この動作を必要とするトラフィックの例には、IPSec VPN クライアント、VoIP 受話器、および 1 つの ISP 接続オプションのみを使用して同じ IP アドレスに高速かつ低遅延で到達するその他のトラフィックが含まれます。

注：このドキュメントで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) を使用してください。

[ネットワーク図](#)

このドキュメントでは、次のネットワーク セットアップを使用します。



設定

ネットワーク ダイアログに示すように、この設定例では、DHCP が設定された 1 つの ISP への IP 接続 (FastEthernet 0) と、他の ISP 接続で PPPoE 接続を使用するアクセス ルータについて説明しています。オブジェクト追跡と OER またはポリシーベース ルーティングを DHCP が割り当てられたインターネット接続とともに使用しない限り、これらの接続タイプによる設定への特別な影響はありません。これらのケースでは、ポリシー ルーティングまたは OER にネクスト ホップ ルータを定義することが非常に困難です。

ルータの設定例

```
track timer interface 5
!
! Configure timers on route tracking
!
track 123 rtr 1 reachability
  delay down 15 up 10
!
track 345 rtr 2 reachability
  delay down 15 up 10
!
! Use "ip dhcp client route track [number]"
!   to monitor route on DHCP interfaces
! Define ISP-facing interfaces with "ip nat outside"
!
interface FastEthernet0
```

```
ip address dhcp
ip dhcp client route track 345
ip nat outside
ip virtual-reassembly
!
interface FastEthernet1
no ip address
pppoe enable
no cdp enable
!
interface FastEthernet2
no cdp enable
!
interface FastEthernet3
no cdp enable
!
interface FastEthernet4
no cdp enable
!
interface FastEthernet5
no cdp enable
!
interface FastEthernet6
no cdp enable
!
interface FastEthernet7
no cdp enable
!
interface FastEthernet8
no cdp enable
!
interface FastEthernet9
no cdp enable
!
! Define LAN-facing interfaces with "ip nat inside"
!
interface Vlan1
description LAN Interface
ip address 192.168.108.1 255.255.255.0
ip nat inside
ip virtual-reassembly
ip tcp adjust-mss 1452
!
! Define ISP-facing interfaces with "ip nat outside"
!
Interface Dialer 0
description PPPoX dialer
ip address negotiated
ip nat outside
ip virtual-reassembly
ip tcp adjust-mss
!
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 dialer 0 track 123
!
! Configure NAT overload (PAT) to use route-maps
!
ip nat inside source route-map fixed-nat
interface Dialer0 overload
ip nat inside source route-map dhcp-nat
interface FastEthernet0 overload
!
! Configure an OER tracking entry
! to monitor the first ISP connection
!
```

```

ip sla 1
 icmp-echo 172.16.108.1 source-interface Dialer0
 timeout 1000
 threshold 40
 frequency 3
!
! Configure a second OER tracking entry
! to monitor the second ISP connection
!
ip sla 2
 icmp-echo 172.16.106.1 source-interface FastEthernet0
 timeout 1000
 threshold 40
 frequency 3
!
! Set the SLA schedule and duration
!
ip sla schedule 1 life forever start-time now
ip sla schedule 2 life forever start-time now
!
! Define ACLs for traffic that
! will be NATed to the ISP connections
!
access-list 110 permit ip 192.168.108.0 0.0.0.255 any
!
! Route-maps associate NAT ACLs with NAT
! outside on the ISP-facing interfaces
!
route-map fixed-nat permit 10
 match ip address 110
 match interface Dialer0
!
route-map dhcp-nat permit 10
 match ip address 110
 match interface FastEthernet0

```

DHCP 割り当てルート トラッキングを使用する場合：

DHCP 割り当てルート トラッキングの設定例 (オプション)

```

interface FastEthernet0
 description Internet Intf
 ip dhcp client route track 123
 ip address dhcp
 ip nat outside
 ip virtual-reassembly
 speed 100
 full-duplex
 no cdp enable

```

確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

[アウトプット インタープリタ ツール \(登録ユーザ専用 \) \(OIT \)](#) は、特定の show コマンドをサポートします。OIT を使用して、show コマンドの出力の分析を表示します。

- show ip nat translation : NAT Inside ホストと NAT Outside ホストの間の NAT アクティビテ

イを表示します。このコマンドを使用すると、Inside ホストが両方の NAT Outside アドレスに変換されることを確認できます。

```
Router# sh ip nat tra
Pro Inside global      Inside local      Outside local      Outside global
tcp 172.16.108.44:54486 192.168.108.3:54486 172.16.104.10:22 172.16.104.10:22
tcp 172.16.106.42:49620 192.168.108.3:49620 172.16.102.11:80 172.16.102.11:80
tcp 172.16.108.44:1623 192.168.108.4:1623 172.16.102.11:445 172.16.102.11:445
Router#
```

- **show ip route** : インターネットへのルートが複数存在することを確認します。

```
Router# sh ip route
Codes: C - connected, S - static, R - RIP, M - mobile, B - BGP
       D - EIGRP, EX - EIGRP external, O - OSPF, IA - OSPF inter area
       N1 - OSPF NSSA external type 1, N2 - OSPF NSSA external type 2
       E1 - OSPF external type 1, E2 - OSPF external type 2
       i - IS-IS, su - IS-IS summary, L1 - IS-IS level-1,
       L2 - IS-IS level-2
       ia - IS-IS inter area, * - candidate default,
       U - per-user static route
       o - ODR, P - periodic downloaded static route

Gateway of last resort is 172.16.108.1 to network 0.0.0.0

C      192.168.108.0/24 is directly connected, Vlan1
       172.16.0.0/24 is subnetted, 2 subnets
C      172.16.108.0 is directly connected,
       FastEthernet4
C      172.16.106.0 is directly connected, Vlan106
S*    0.0.0.0/0 [1/0] via 172.16.108.1
       [1/0] via 172.16.106.1
Router#
```

トラブルシュート

Cisco IOS ルータで NAT をした後に接続が機能しない場合は、次のことを確認してください。

- Outside インターフェイスと Inside インターフェイスで NAT が適切に適用されている。
- NAT 設定が完全であり、NAT を適用する必要があるトラフィックが ACL に反映されている。
- インターネットおよび WAN への利用可能なルートが複数存在する。
- ルート トラッキングを使用してインターネット接続が使用可能であることを確認する場合は、ルート トラッキングの状態を確認します。

関連情報

- [Cisco IOS 12.4 NATコンフィギュレーションガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)